

持続成長のための、 いま挑戦すべき経営戦略

会社の今…

虎視眈々—きっかけを狙う—市場の変化・景気の動き
 変事準備—組織強化—転換教育—新リーダー
 事業純化—絶対コスト訴求—有効活動集中
 不足機能調達—技術・人材・活動拠点—M&A
 新組織構想—退任意図—後継者群評価・探索

●開催日：2009年7月24日(金) 14:30～16:30

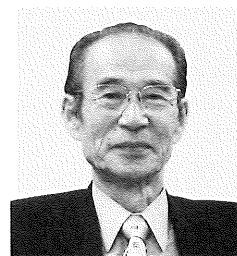
●会場：東京国際フォーラム G407号室

東京都千代田区丸の内3-5-1 TEL:03-5221-9000(代) *地図は裏面参照

■講師：(株)現代経営技術研究所 所長 鈴木 成裕

<講師プロフィール>

(株)現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)、『経営転換の構想』(同文館出版)、『戦略教育』(マネジメント社)、『企業意思のリデザイン』(講談社)、『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)、『構想力』の育て方』(プレジデント社)、『実践「経営プロジェクト」講座』(プレジデント社)他、多数。



プログラム

14:30

- 必ずくる人材ギャップに備える
- (選択と集中)戦略の限界をどう超えるか
- 単純成果主義の破産の次に
- 組織競争力の再構築
- プロジェクト推進力のアップ
- 社員の経営参画の再建
- 複雑・多様化との戦い—新単純化の勧め

<休憩 15分>

質疑応答

15:45

アングロサクソン流の経営方式は崩壊したのか。
 不況の持続について。これからの人事の評価基準など参加者の質問と討議。

<16:30 解散>

講師の言葉

これからの数年の企業行動が、その後に与える影響は決定的であると思われます。以前のそれの比ではないでしょう。厳しい現段階の環境の中での活動は企業の構造や体質そのものを変え、それは企業の競争力となります。

だがそこで、見落としがちな重要事項があります。今回はその中で、現在の競争力に関わるとともに今後の基調を左右する事項のいくつかを述べることにしました。